

ヒラキ 背負い式アシストフック エレファントトランク

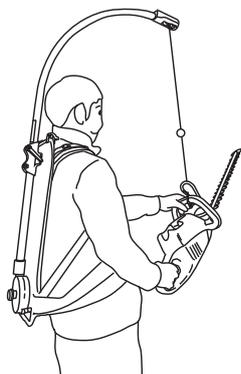
GMT-ET22

取扱説明書

このたびは
お買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に、かならずこの取扱説明書を
よくお読みいただき、
本商品を十分ご理解の上、適切な使用と保守を
していただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるよう
お願い致します。

また、この取扱説明書は
お手元に大切に保管をお願い致します。



製品内容
ヘッジトリマー・高枝チェーンソーなどの
使用時に腕への負担を軽減する、
背負い式のアシストフックです。
ヘッジトリマーまたは重量が 4.5 ~ 8kgの
その他の機械等に、フックを引っかけて
スプリングの張力により、最大約3kgの重量が
軽減されます。



製品仕様

| | |
|----|---------------------------------|
| 型番 | GMT-ET22 |
| 寸法 | 横 700mm 幅 800mm 高さ 1310mm |
| 重量 | 3.9kg |

使用推奨 重量

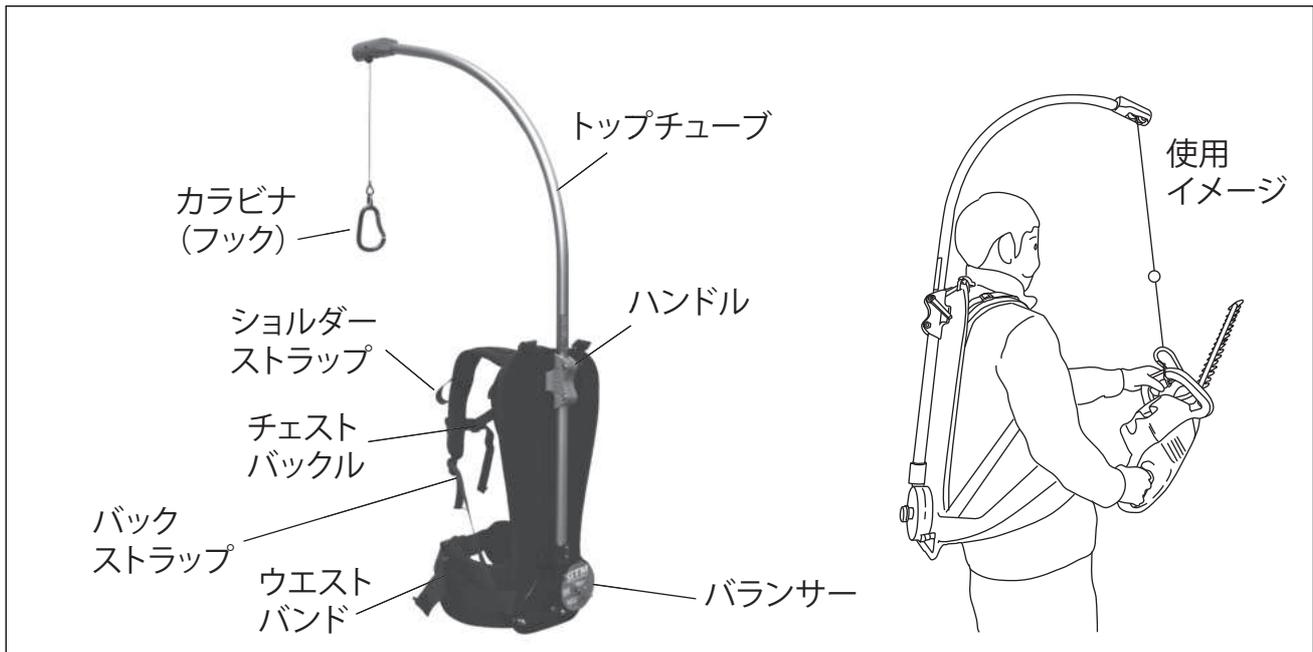
4.5kg~8kg

※約3kg以下または8kg以上では
使用しないでください。
最大約3kg重量が軽減されます。

張力は工場側で30Nにセットされています。
変更できません。



各 部 名 称



⚠ 安全上のご注意 ⚠

事故等を未然に防ぐため、以下の注意事項をかならずお守りください

清潔で明るい場所で作業してください。暗い雑然とした場所での作業は事故につながる可能性があります

小さなお子様を近づけさせないで下さい。作業中は作業員以外、機械に触れさせないでください

疲労を感じる時や、医薬品やアルコールを飲んでいる場合は使用しないでください。一瞬の不注意が深刻な事故に繋がります。

お客様自身での修理や改造は危険です。絶対におやめください。

使用前には本製品のネジの緩みやバックルの破損等の異常が無いかをご確認の上、使用をしてください。

ゴーグル、手袋を着用して使用してください。

安全に考慮された履物と長袖、長ズボンを着用し使用してください。

雨天時や濡れた状態では使用しないでください。

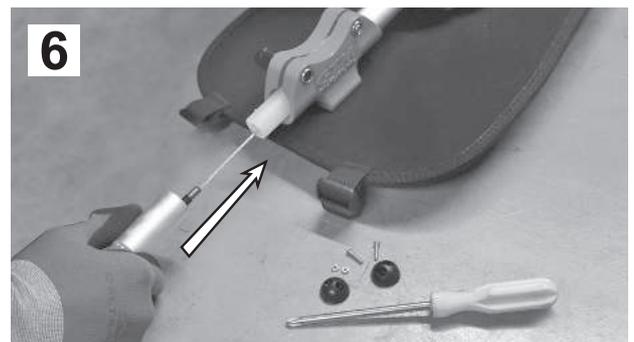
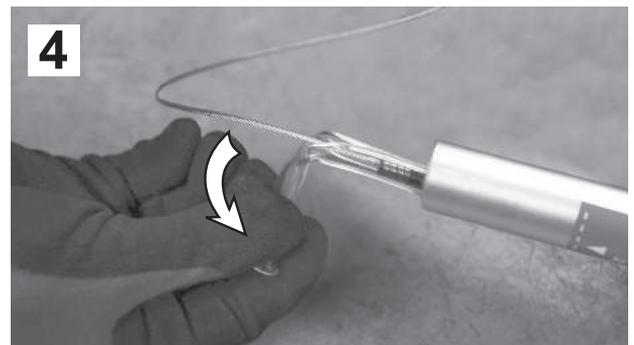
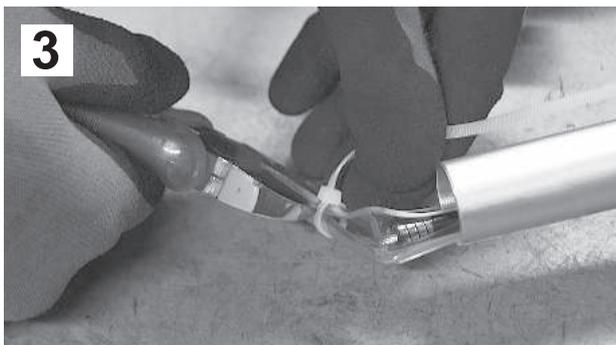
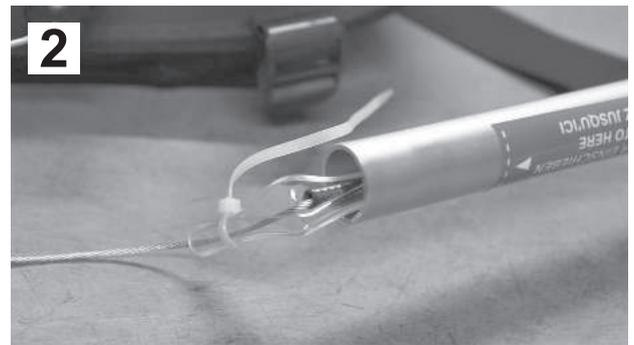
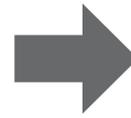
使用推奨重量の4.5kg～8kg内でご使用ください。約3kg以下または8kg以上では使用しないでください。故障や怪我の原因となります。

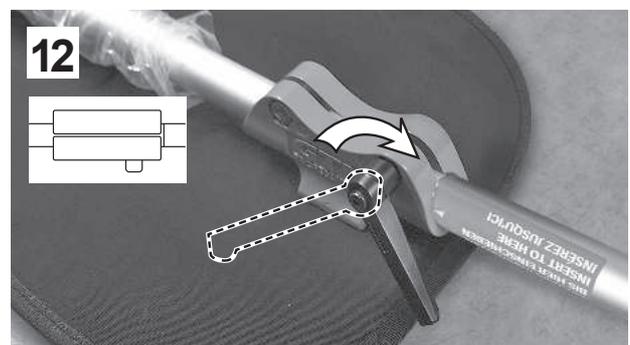
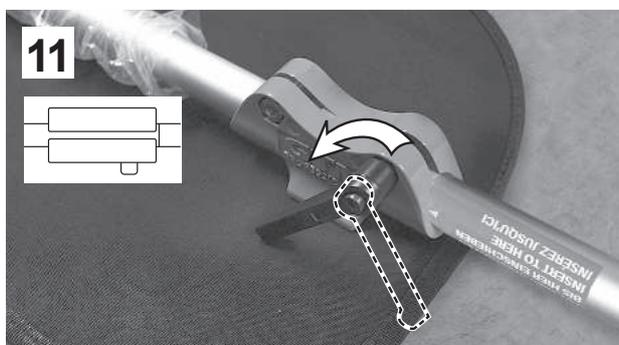
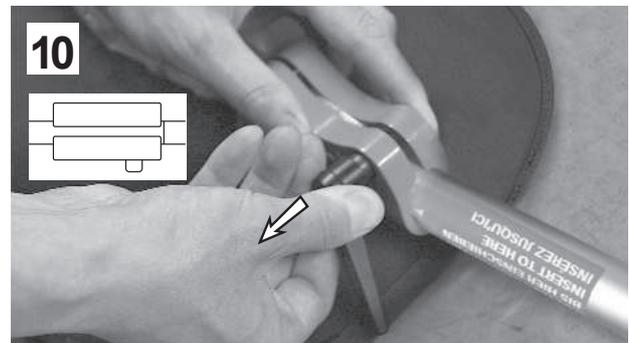
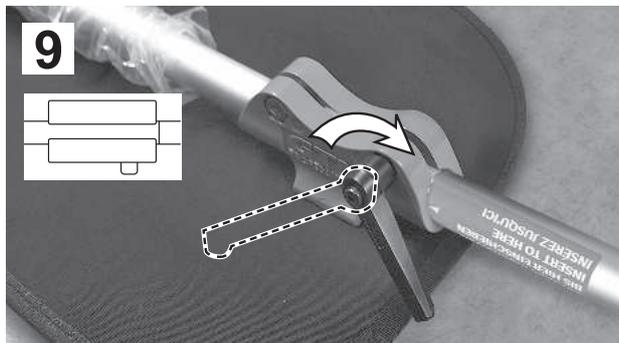
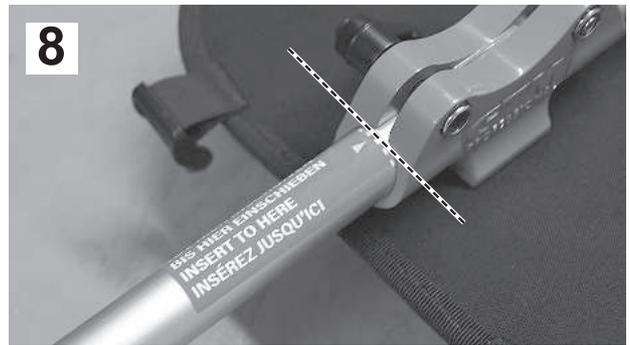
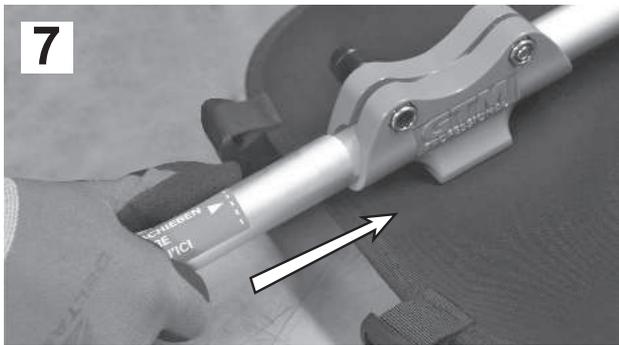
組立方法

納品時



完成





装着方法

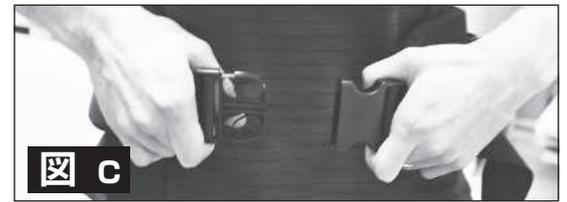
カラビナ(フック)をトップチューブにひっかけて装着をすると安全です。

① ショルダーストラップの位置を決めます。

背の高い人は、最も高い位置にします(図 a)。
背の低い人は、最も低い位置にします(図 b)。



- ② ショルダーストラップを背中につけ、ウエストバンドのバックルをはめます(図c)。



ウエストバンドの長さはストラップを引っ張って調整します(図d)。



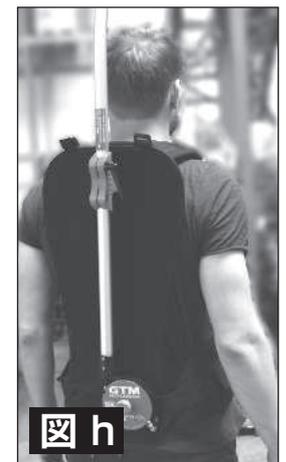
- ③ チェストバックルをはめます(図e)。

ショルダーストラップを引き、希望の位置まで持ち上げます(図f)。



- ④ バックストラップを引っ張って、希望の長さに調整します(図g)。

装着が完了いたしました。(図h)。



使用方法

機械のハンドルをカラビナ(フック)に取り付け、スチールケーブルの端にクリップで固定します。

トップチューブが生垣に接触しないようにするため、トップチューブを360°回転させることができます。

そのためにはハンドルを緩め、トップチューブを希望の方向に回転させてハンドルを固定します(図i)。

組立方法の図9~12を参考にしてください。



[保守に関するご注意]

メンテナンスと保管

乾燥した場所に保管し、子供の手の届かないようにしてください。

使用後に柔らかいブラシや布を使って清掃し、木屑や埃を取り除いてください。

安全のために、摩耗や損傷した部品は交換してください。

廃棄方法

本製品の廃棄に関しては、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

トラブルシューティング

| 問 題 | 原 因 | 解決策 |
|------------------------------------|---------------------------|---------------------------------------------------------|
| スチールケーブルが balanser に 引き込まれない | スチールケーブルが 破損している | スチールケーブルまたは balanser を交換する ご購入された販売店へ ご相談ください。 |
| | balanser のスプリングが 壊れている | balanser を交換する ご購入された販売店へ ご相談ください。 |
| | スチールケーブルの 潤滑が必要 | シリコンスプレーで スチールケーブルに 潤滑する |